令和５年度　社会福祉法人来夢　事業報告

〈基本理念〉

互いを思いやり　安心して　ともに生きる

１　互いをかけがえのない存在として、思いやりと助け合いの精神

を大切にします。

２　ともに生きるという理念のもと、自由な自己実現を願い、共生

社会の実現に貢献します。

３　安心・安全をコンセプトに、参画・協働・連携して、多角的な

視点により事業を展開します。

Ⅰ　法人運営

１　事業概要

運営する３か所の生活介護事業と共同生活援助事業、相談支援事業については、提供する福祉サービスの質の向上を図り、利用者のニーズに応えられるように地域福祉の推進に努めました。長く続いた新型コロナウイルスについては５類移行となり、感染対策は個人・事業者の判断となりました。生活介護事業所、共同生活援助事業所は地域の感染状況をみながら外出行事等を徐々に増やし、活動の幅を広げました。

２　成果と課題

　法人および事業所の運営にあたり、利用者の主体性を大切にした活動の充実と、運営会議および委員会活動等をとおして職員の育成を図ることを柱に進めました。

事業計画では重点施策として、経営基盤を強化、人材育成体制を整備、事業の見直し等を掲げて取り組んできました。

経営基盤の強化につきましては収入の柱となる生活介護事業所の定員割れに対し、法人内のサポートらいむに情報収集を依頼し、利用者の確保に努めました。人材育成につきましては、世代交代を見据え管理者、サビ管等若手職員を中心に運営会議１を立ち上げ月に一度の会議を開催しました。成果を挙げるまでには至りませんでしたが６年度以降の取り組みへの足掛かりとなりました。また職員全体の支援力の底上げを図るため委員会活動を通じて研修を行いました。

相談支援事業の見直しでは経験豊富な職員を１名増員しマネジメントの質の向上を図りました。支援困難ケースへの積極的な対応と事業収益増による事業継続のための機能強化型体制加算を申請する準備を進めました。短期入所事業は、慢性的な来夢の家の職員不足により休止しました。

３　評議員会・理事会・評議員選任・解任委員会の開催状況

（１）評議員会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催時期 | 議決・報告事項 |
| 第１回  令和５年  ６月１６日 | 第１号議案　令和４年度計算関係書類について  報告事項１．令和４年度事業報告について |
| 第２回  令和６年  ３月２２日 | 第１号議案　定款の一部変更について  報告事項　１．令和６年度事業計画について  　　　　　２. 令和６年度資金収支予算について |

（２）理事会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催時期 | 議決・報告事項 |
| 第１回  令和５年  ６月１日 | 第１号議案　令和４年度事業報告について  第２号議案　令和４年度計算関係書類について  第３号議案　令和５年度第１回補正予算について  第４号議案　給与規程の一部を改正する規程についておよび臨時職員就業規則の一部を改正する規程について  第５号議案　定時評議員会の招集について  報告事項　１．職務執行状況の報告について  報告事項　２．令和４年度予備費流用状況について |
| 第２回  令和６年  ３月８日 | 第１号議案　定款の一部変更について  第２号議案　職員就業規程の一部改正について  第３号議案　臨時職員就業規程の一部改正について  第４号議案　給与規程の一部改正について  第５号議案　評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について  第６号議案　経理規程細則の一部改正について  第７号議案　資金運用規程の制定について  第８号議案　令和５年度補正予算について  第９号議案　令和６年度事業計画について  第10号議案 令和６年度資金収支予算について  第11号議案 評議員会の招集について  第12号議案 事業所管理者人事について  報告事項　１．職務執行状況の報告について  報告事項　２．令和５年度予備費流用状況について |
|  | |

４　監査

（１）監事監査

令和５年５月１９日に法人の監事２名による監査を実施し、適正に執行されていることが確認されました。

（２）社会福祉法人指導監査

令和５年度の指導監査は、８月２４日に実施され、指摘事項はありませんでした。

（３）障害福祉サービス事業所実地指導

令和５年度の実地指導は、相談支援事業所サポートらいむについて７月２７日に実施され、指摘事項はありませんでした。

５　運営会議等の開催状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会議・委員会 | 開催数 | 人数 | おもな内容 |
| 運営会議１ | １２回 | ８人 | ・事業所の運営に関すること  ・利用者支援全般に関すること  ・行事全般について  ・危機管理・人財育成・人権擁護委員会に関すること  ・職員の研修・育成に関すること  ・事業計画・事業報告・決算書について  ・今後の運営について  ・相談支援事業所サポートらいむについて |
| 運営会議２ | １０回 | ７人 | ・法人経営、事業所の運営に関すること  ・人事、体制に関すること  ・理事会・評議員会の開催について  ・職員の研修・育成に関すること  ・危機管理・人財育成・人権擁護委員会に関すること  ・相談支援事業所サポートらいむについて |
| 危機管理委員会 | ２回 | ７人 | ・１７１災害伝言ダイヤル防災訓練について  ・事故防止及び発生時対応マニュアルの整備、確認  ・事業所内外の安全確認と耐震対策の検討  ・労働安全衛生管理状況表のチェック、確認  ・防災・感染症対策について  ・総合防災訓練について  ・連絡網の確認  ・利用者・職員の健康診断について  ・BCP作成について |
| 人財育成委員会 | ３回 | ８人 | ・ホームページの更新・ブログについて  ・職員研修について  ・らいむまつりについて |
| 人権擁護委員会  （虐待防止委員会） | ２回 | ８人 | ・利用者自治会活動報告について  ・職員親睦会規約の検討、確認  ・各規程（苦情解決・虐待防止・身体拘束・ハラスメント防止）の検討見直し、確認  ・クラブ活動について |

※アクシデント・インシデントレポートの検証

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業所 | レポート | 件数 | おもな内容・解決策等 |
| つばさ  工房 | インシ  デント | １件 | 椅子に座っていた利用者が後ろの職員が気になり急に仰け反った。見守りの職員が支え転倒を防いだ。　→　意思の確認が難しく多動な利用者は必ず見守り職員を配置する。 |
| アクシ  デント | ４件 | 利用者が水分補給の為、お茶を飲もうとテーブルに近づいた際に隣の他利用者が手で押して臀部から転倒。　→　回避行動がとれない利用者には職員を配置する。 |
| よつば  工房 | インシ  デント | ４件 | 外出行事で公園駐車場に到着後、一人の利用者が職員と手を繋いで歩いていたところ突然手を振り払いトイレへ駆け出してしまう。　→　特に配慮が必要な利用者の対応が複数名いる場合、職員一人では対応しない。職員全体で協力をするように配慮する。 |
| アクシ  デント | １５件 | 利用者が帰宅のため保護者の迎えを玄関で待っていた。保護者が到着し、玄関を出た直後、利用者が扉を勢いよく閉めたところ職員の左手を挟んだ。　→　両手を持って移動することが必要であることを再認識して支援にあたる。 |
| 実結の森 | インシ  デント | ０件 |  |
| アクシ  デント | ５件 | 公園での活動時に不穏症状があり、早めに実結の森へ戻っていただくために公用車を用意し、乗ってもらおうと思った際に安全確認のため先に公用車へ向かっていた職員に走って追いつき、背後から軽くおされ、職員が転倒する。　→　職員が先に着いてから、公用車へ乗りこむように支援する。 |
| 来夢の家 | インシ  デント | ２件 | 夜間歩行の不安定な利用者がトイレ内で躓き転倒しそうになる。　→　トイレでは手すりを使用しての歩行を支援する。夜足腰の筋力低下や関節可動域が狭くなることで危険が増すため、生活動作の中で行える運動などQOLの維持を支援する。 |
| アクシ  デント | １４件 | 洗面場のゴミ箱を急いで移動させようとした利用者が頭上の衣類乾燥機の蓋に額を打ち怪我をする。　→　ゴミ捨てに強いこだわりがあることや周囲の状況が目に入らなくなるなどの特性について職員全体で周知、理解を再徹底する。衣類乾燥機がある洗面場の環境整備を進める。 |
| サポート  らいむ | インシ  デント | ０件 |  |
| アクシ  デント | ０件 |  |

※県・市に報告した事故はありませんでした。

６　職員研修

（１）内部研修

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 実施日 | 内容 | 講師・係等 | 対象者 |
| １ | ７月８日 | 接遇マナー研修 | よつば工房  大須賀猛 | 法人全職員 |
| ２ | １０月４日 | 個別支援計画作成勉強会 | 相談役  佐治正光 | 法人職員８名 |
| ３ | １１月２２日 | 感染症の予防及びまん延防止に関する研修 | つばさ工房  高氏透 | 全職員 |
| ４ | １１月２３日 | 感染症の予防及びまん延防止に関する研修 | 実結の森  鈴木大士 | 全職員 |
| ５ | １１月２８日 | 感染症の予防及びまん延防止に関する研修 | よつば工房  大須賀猛 | 全職員 |
| ６ | １月１６日 | 虐待防止と身体拘束等適正化について | 新城福祉会  大原直樹氏 | 全職員 |
| ７ | １月２７日 | 虐待防止と身体拘束等適正化について | 新城福祉会  大原直樹氏 | 全職員 |
| ８ | ２月７日 | 感染症の予防及びまん延防止に関する研修 | 来夢の家  水野輝 | 全職員 |

（２）外部研修

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 実施日 | 内容 | 団体・講師等 | 対象者 |
| 1 | ５月３０日～  ３１日 | 令和５年度防火管理講習（甲種） | 豊橋市消防本部  ライフポートとよはし | 管理者１名 |
| 2 | ５月３１日 | 虐待防止特性のある方の個別支援  計画を考える研修 | とよはし総合相談支援センター | 管理者１名  主任生活支援員1名 |
| 3 | ６月１４日  ～１５日 | 令和５年度防火管理講習（甲種） | 豊橋市消防本部  ライフポートとよはし | 管理者２名 |
| 4 | ７月１２日  ～１３日 | 令和５年度新規採用者研修 | 愛知県知的障害者福祉協会 | 生活支援員1名 |
| 5 | ７月４日 | 安全運転管理者講習 | 愛知県公安委員会 | 生活支援員1名 |
| 6 | ７月１３日  ～１４日 | 令和５年度全国知的障害関係施設  長等会議 | 日本知的障害者福祉協会 | 管理者１名  生活支援員1名 |
| 7 | ７月２５日 | 相談支援専門員研修  事例検討会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 8 | ７月２８日 | 相談支援専門員研修  意見交換会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 9 | ７月３１日 | 相談支援専門員研修  事例検討会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 10 | ８月４日 | 雇用トラブル対策セミナー  WEBセミナー | ジェイアイシーセントラル（株） | 管理者１名 |
| 11 | ８月１０日 | 令和５年度リーダー研修 | 愛知県社会福祉協議会 | 管理者１名 |
| 12 | 8月10日18日  29日、９月10日 | 愛知県サビ管（基礎研修）  ファシリテーター | 愛知県社会福祉協議会 | 生活支援員１名 |
| 13 | ８月３０日  ～３１日 | 令和５年度福祉職員チームリーダー研修 | 愛知県社会福祉協議会 | 生活支援員１名 |
| 14 | ９月６日 | 相談支援専門員研修  ことばの発達について | 保健所 | 相談支援専門員  1名 |
| 15 | ９月８日 | 虐待事例を通じて対応策を学ぶ  研修会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 16 | ９月１３日 | 東三セルプ「療育研修会インシデントプロセス逢」 | 東三セルプ  もくせいの花 | 管理者１名  生活支援員１名 |
| 17 | ９月２７日 | 令和５年度「中堅者研修」  インシデントプロセス方 | 愛知県知的障害者福祉協会 | 管理者１名 |
| 18 | １０月４日  ～５日 | 令和５年度福祉職員中堅職員研修 | 愛知県社会福祉協議会 | 生活支援員１名 |
| 19 | 10月18日、25  日、11月1日、  8日 | 成年後見・権利擁護講座  4回 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 20 | １０月１８日 | 東三セルプ事務員研修 | ほのくに | 生活支援員２名 |
| 21 | １０月２０日 | 相談支援専門員研修  地域生活支援拠点について | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員１名 |
| 22 | １０月２４日 | 令和５年度相談支援事例検討会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員２名 |
| 23 | １１月６日  ～７日 | 強度行動障がい支援者養成研修 | ホットライン  クリエート浜松 | 生活支援員４名 |
| 24 | １１月１７日 | 相談支援専門員研修  もっと茶話会 | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員２名 |
| 25 | １１月２１日  ～２２日 | サービス管理責任者（更新研修） | 愛知県社会福祉協議会 | 管理者１名 |
| 26 | １１月２１日 | 施設見学＆情報交換ツアー | 愛知県知的障害者福祉協会 | 生活支援員１名 |
| 27 | １１月２８日  ～２９日 | 令和５年度防火管理講習（甲種） | 豊橋市消防本部  ライフポートとよはし | 生活支援員２名 |
| 28 | １１月２９日 | 令和５年度豊橋市地域世親保健  福祉研究会 | 豊橋市保健所  アイプラザ豊橋 | 相談支援専門員２名 |
| 29 | １２月１１日 | 令和５年度自殺未遂者支援研修 | 豊橋市保健所 | 相談支援専門員２名 |
| 30 | １２月１２日  ～１３日 | 第23回愛知県知的障害関係施設  職員研究大会 | 愛知県知的障害者福祉協会 | 生活支援員３名 |
| 31 | １２月１５日 | サービス等利用計画作成の事務手続き | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員２名 |
| 32 | １２月２２日 | 担当者会議  進め方・ポイント | とよはし総合相談支援センター | 相談支援専門員２名 |
| 33 | １２月２８日 | 障害福祉サービス事業所向け  BCP作成慣習 | とよはし総合相談支援センター | 管理者２名 |
| 34 | １月２４日 | 愛知県障害者虐待防止権利擁護研修 | 愛知県障害福祉課 | 管理者１名 |
| 35 | ２月７日 | 障がいのある子の親なき後のお金の話 | 豊橋市社会福祉協議会 | 相談支援専門員２名 |
| 36 | ２月１３日 | 第２回身近な包括的相談支援体制構築のための3圏域研修会 | 豊橋市社会福祉協議会 | 相談支援専門員２名 |
| 37 | ２月２１日 | 令和５年度メンタルヘルス研修 | 愛知県知的障害者福祉協会 | 生活支援員１名 |

７　職員の健康管理等

「安全衛生委員会及び健康・保健衛生に関する要綱」に沿って対応しました。

（１）健康診断の実施

全職員が定期健康診断を受診しました。再検査等の指摘を受けた職員に対しては個々に対応しています。

（２）メンタルヘルスの対応等

メンタルヘルス不調を未然に防止するため、適時の職員面談を実施しました。また厚生労働省が提供する「こころの耳（職場のストレスセルフチェック）」の利用を推奨し、職員によるセルフチェックの機会を設け支援しました。

（３）労働災害

人数：１名

内訳：利用者の作業品を出荷する際、重い荷物の運搬により腰のヘルニアを発症した。

８　利用者の健康管理等

利用者の健康管理等のため、健康診断の実施や感染症対策等をすすめました。

（１）健診および診察

（２）感染症について

①インフルエンザ等の感染症対策

　・インフルエンザワクチン接種の支援（嘱託医接種）

・事業所内の換気・次亜塩素酸水による除菌の実施

・手洗いの励行、アルコール消毒、お茶の飲用等

②新型コロナウイルス感染対策

・簡易抗原検査の実施

・新型コロナウイルスワクチン接種の支援（嘱託医接種）

③新型コロナウイルス感染による事業所の休業・自粛等

　・ありませんでした。

９　第三者評価

令和５年度は、第三者評価を受審した事業所はありませんでした。

１０　苦情解決

令和５年度は、苦情解決に該当する事案はありませんでした。

Ⅱ　事業所運営

つばさ工房（生活介護事業所）

１　事業概要

利用者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行いました。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行いました。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。行事については、新型コロナウイルスが５類へ移行したことにより、国の方針に従い、少しずつ以前のような活動に対応していく取り組みを行いました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。また感染症に配慮しつつも、不特定多数の方がいる動物園や梅園などへ出かけました。中でも、４年ぶりに実施した店舗でのカラオケは、大いに盛り上がりました。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

体力作り活動は、個々の利用者の状況に対応しつつ工夫を重ね、４年度よりも歩く距離を延ばせました。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習　　②エアロビクス・レクリエーション

③自治会活動　　④クラブ活動　　⑤送迎支援

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 | 桜花見 | 10月 | 秋遠足（のんほいパーク） |
| ５月 | 春遠足（のんほいパーク） | 11月 |  |
| ６月 | 毛筆展見学 | 12月 | らいむまつり、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 書初め展見学、健康診断、  新年会（カラオケ） |
| ８月 | 夏祭り、作品展見学 | ２月 | 節分豆まき、梅花見 |
| ９月 | おやつ作り教室 | ３月 |  |

３　成果と課題

４年度からの集団作り（体制整備）の成果が表れた１年でした。体力づくりは以前よりまとまって歩くことができてきました。２回行ったのんほいパークへの遠足も、２回目は休園日利用ではなく通常開園日に行くことができました。今後は外食行事にも取り組みたいと思います。また、年度途中から室内での健康器具を取り入れた体力づくりにも取り掛かり、一定の成果が上がってきています。

　利用者の年齢や障害が比較的重たいことを考えると、更に充実させていくことが必要と思います。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 12 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 |
| ボランティア | 0 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 12 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

７　苦情解決

令和５年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和５年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 18 | 196 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 21 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 21 | 23 | 268 |
| 延べ人数 | 334 | 349 | 315 | 334 | 254 | 304 | 342 | 329 | 324 | 337 | 314 | 364 | 3,900 |
| 1日平均 | 15.2 | 15.2 | 14.3 | 14.5 | 12.1 | 13.8 | 14.9 | 15.0 | 14.1 | 14.7 | 15.0 | 15.8 | 14.6 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和６年３月３１日現在）　※平均：３４．７歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 4 | 4 | 2 | 0 | 10 |
| 女 | 0 | 2 | 4 | 0 | 2 | 8 |
| 計 | 0 | 6 | 8 | 2 | 2 | 18 |

・障害支援区分別（令和６年３月３１日現在）　※平均：５．５

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | 0 | 4 | 6 | 10 | 8 |
| 女 | 0 | 1 | 3 | 4 | 8 | 3 |
| 計 | 0 | 1 | 7 | 10 | 18 | 11 |

よつば工房（生活介護事業所）

１　事業概要

利用者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行いました。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行いました。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。

新型コロナウイルスの感染の広がりにより、事業所でのサービス提供を控え家庭活動支援にて対応することもありました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。

感染対策も兼ねて個別外出の機会を充実させ、利用者の心身のリフレッシュを図りました。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習、②エアロビクス・レクリエーション、③自治会活動、④クラブ活動、⑤送迎支援

自治会では、誕生日プレゼントの取り組みを工夫し、習字クラブでは、「みんなのアート展」を始め各所への作品展示の機会を設けるなど、利用者主体の活動の充実を図りました。

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 | 春遠足（のんほいパーク） | 10月 | 秋遠足（ぎょぎょランド） |
| ５月 | 外出行事「登山の会」（岩屋緑地） | 11月 |  |
| ６月 | 毛筆展見学、外出行事「あじさいの里」 | 12月 | らいむまつり、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 書初め展見学、初詣・新年会、健康診断 |
| ８月 | 来夢作品展見学、夏祭り | ２月 | 節分豆まき、みんなのアート展見学、梅花見 |
| ９月 |  | ３月 | 茶話会 |

３　成果と課題

（１）新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、一人一人に応じた活動が提供できました。

（２）強度行動障害の方やこだわりの強い方に対しては、落ち着いた環境で職員とマンツーマンで食事したり、気分の高ぶりを解消するために個別支援室を活用しました。

（３）９月より新規利用者１名と契約を交わしました。

（４）相談支援事業所を通じて焼菓子の販売可能な福祉施設を紹介して頂きました。販促方法に課題が残り、状況に応じた販売・宣伝方法を検討していく必要があります。コロナウイルスが５類になったことで各種バザーでの販売機会を増やし、福祉施設以外にも販路の拡大に努めます。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 6 |
| ボランティア | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 14 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

７　苦情解決

令和５年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和５年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 235 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 22 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 21 | 23 | 269 |
| 延べ人数 | 381 | 391 | 367 | 382 | 366 | 375 | 387 | 385 | 395 | 401 | 357 | 393 | 4,580 |
| 1日平均 | 17.3 | 17.0 | 16.7 | 16.6 | 16.6 | 17.1 | 16.8 | 17.5 | 17.2 | 17.4 | 17.0 | 17.1 | 17.0 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和６年３月３１日現在）　※平均：３８．５歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 1 | 6 | 8 | 0 | 15 |
| 女 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 5 |
| 計 | 0 | 2 | 8 | 10 | 0 | 20 |

・障害支援区分別（令和６年３月３１日現在）　※平均：５．０

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 1 | 3 | 6 | 5 | 15 | 10 |
| 女 | 0 | 2 | 1 | 2 | 5 | 3 |
| 計 | 1 | 5 | 7 | 7 | 20 | 13 |

実結の森（生活介護事業所）

１　事業概要

利用者の方に対して、食事及び排泄の介護や日常生活に必要な機能の維持向上を目的とした各種の機会の提供、その他レクリエーションなどの活動をとおして安定した日常生活と社会参加への支援を行いました。また、地域のさまざまなサービス機関との連携の他、事業所での活動や地域での生活に必要な情報の提供及び助言等の支援を行いました。【対象者：１８歳以上の障害者、定員２０名】

２　実施内容

利用者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。行事内容は、新型コロナウイルスが５類へ移行したことにより、国の方針に従い、少しずつ以前のような活動に対応していく取り組みを行いました。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を毎日の活動の中で身につけられるよう支援しました。４年度に好評だった節分行事に寸劇を取り入れるなど、事業所のオリジナル企画を考え、マンネリ化を脱却するように取り組みました。

明治安田生命が行うペットボトルのキャップ回収に協力し、玄関に回収ボックスを設置しました。

（３）作業活動支援

働く喜びを体感するため、個々の希望、適性を考慮して生産活動に参加する機会を提供しました。授産収入増につながるシフォンケーキなどの製菓作りも内部販売を中心に再開しました。

（４）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

４年度から始めた花育活動に本格的に取り組み、実結の森駐車場全体に広げました。季節を感じながら、色や香りから視覚や嗅覚を養い、心が和んでもらうことを心掛けながら取り組みました。

（５）その他の活動支援

①パン教室・調理実習、②エアロビクス・レクリエーション、③自治会活動、④クラブ活動、⑤送迎支援

自治会の活動内容でお弁当・おやつの日の内容選びや、誕生日プレゼント渡しは、活動を通して意見を話し合う場となり利用者間の親睦を深める機会となり、行事の楽しみも増していました。

⑥環境整備

　　定期的に除草剤をまき、作業にも草とりを取り入れるなどし、見栄えの改善に努めました。また計画的にワックス掛け等を全室に行い、建物保全に努めました。

（６）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 | 桜花見 | 10月 | 秋遠足（のんほいパーク） |
| ５月 | 美化活動（５３０運動） | 11月 | お菓子作り教室 |
| ６月 | 毛筆展見学 | 12月 | らいむまつり、クリスマス会、大掃除 |
| ７月 | 七夕飾り | １月 | 初詣、お楽しみ会、書初め展見学、健康診断 |
| ８月 | 作品展見学、夏祭り（縁日） | ２月 | 節分豆まき |
| ９月 |  | ３月 | 春遠足（のんほいパーク） |

３　成果と課題

1. 新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、一人一人に応じた活動が提供できました。
2. 新型コロナウイルス感染防止対策が緩和したことにより、見学や受け入れ体験の希望が増えてきました。積極的に受け入れを実施し、風通しの良い事業所を目指しました。

（３）年度終盤は職員の休職や退職等が重なり余裕のない配置となりましたが、職員一人一人の支援の幅を広げることで支援目標を変更することなく取り組むことができました。今後も不測の事態に備えられるよう励んでいきたいと思います。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | １ | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | １ | ３ |
| ボランティア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

６　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

災害時に備えて備蓄の見直しとして、非常食を買い揃えました。従来の非常食の賞味期限は５～６年の物がでしたが、さらに長期保存（賞味期限２５年）の可能な非常食に切り替えました。

７　苦情解決

令和５年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

８　虐待防止

令和５年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

９　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 19 | 228 |
| 開所日数 | 22 | 23 | 22 | 23 | 21 | 22 | 23 | 22 | 23 | 23 | 21 | 23 | 268 |
| 延べ人数 | 344 | 371 | 360 | 360 | 323 | 346 | 361 | 352 | 354 | 350 | 336 | 351 | 4,208 |
| 1日平均 | 15.6 | 16.1 | 16.4 | 15.7 | 15.4 | 15.7 | 15.7 | 16.0 | 15.4 | 15.2 | 16.0 | 15.3 | 15.7 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和６年３月３１日現在）　※平均：４３．９歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 2 | 4 | 2 | 3 | 11 |
| 女 | 0 | 0 | 1 | 3 | 4 | 8 |
| 計 | 0 | 2 | 5 | 5 | 7 | 19 |

・障害支援区分別（令和６年３月３１日現在）　※平均：４．８

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | 4 | 3 | 4 | 11 | 6 |
| 女 | 2 | 2 | 2 | 2 | 8 | 2 |
| 計 | 2 | 6 | 5 | 6 | 19 | 8 |

来夢の家（共同生活援助事業所・短期入所事業所）

１　事業概要

入居者の方に対して、食事及び排泄、入浴などの支援を行い、可能な限り一般生活に近い形での生活を送ることができるよう支援に努めました。

４年度に引き続きコロナ禍での生活でしたが、５類に移行したことにより、少しずつ行事も拡大し、地域生活を楽しむことができるよう支援を行いました。【対象者：１８歳以上の障害者、定員１４名】

２　実施内容

入居者が安心して生活・活動できるように、障害特性や個性に配慮して個別支援計画を作成し、計画に基づいて必要な支援を行いました。ただ新型コロナウイルスやインフルエンザへ感染した入居者は、保護者の協力のもと家庭で対応していただいたため、事業所の収入に影響を与えたことは否めませんでした。

（１）生活支援

障害特性やストレングスに応じ、プライバシーに配慮して、食事、排泄、更衣、入浴、夜間生活、移動等及び挨拶・整容等の日常生活支援を行いました。

（２）社会活動支援

四季折々のイベントを中心に楽しく活動できるように環境を整え、地域生活に必要なルール、マナー等を身につけられるよう支援しました。

（３）健康支援

健康状態の把握や感染症対策に努め、体調変化に細やかに応じられるように家庭等と連携を図りました。事業所内の消毒や加湿空気清浄機の活用、熱中症対策、次亜水噴霧器による外部からのウイルス侵入を防ぐ等、疾病予防に努めました。

（４）おもな行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 活動内容 | 月 | 活動内容 |
| ４月 |  | 10月 | お楽しみ会 |
| ５月 | 端午の節句 | 11月 |  |
| ６月 |  | 12月 | 冬至、クリスマス会、忘年会 |
| ７月 | 七夕、土用の丑 | １月 | 初詣、新年会 |
| ８月 |  | ２月 | 節分祭 |
| ９月 |  | ３月 | ひな祭り |

　※誕生者該当月に誕生日会実施

３　短期入所事業　受け入れ実績

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 延べ人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

４　成果と課題

（１）夜間支援という業務の特殊性もあり、求人の難しさから職員配置が不足し、令和４年度途中から令和5年度８月まで約１０か月間に渡り週末帰省を延長する形での運営となり、利用者に不便と心配をかけることになりました。９月からは職員配置が整い週末帰省をそれまで通りの形に戻すことが出来ました。今後も安定的な事業所運営、利用者のニーズを受け入れができるように、求人活動や職員の確保に努めます。

（２）短期入所事業は、利用者のニーズは高いものの、職員不足もあり利用希望に応えられないため、運営に十分な職員が確保できるまで短期入所事業を休止する方向です。

５　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

６　福祉実習、ボランティア受け入れ

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 実習生 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ボランティア | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

７　防災訓練

地震、暴風雨等の自然災害対応、火災、不審者対応等の防災に備えるため、毎月１回の訓練を実施し、防災意識を高められるよう努めました。

事業所間の情報共有と連携を高める訓練、災害伝言ダイヤルを活用して安否状況を確認する訓練を実施しました。

８　苦情解決

令和５年度は、苦情に該当する事案はありませんでした。

９　虐待防止

令和５年度は、虐待に該当する事案はありませんでした。

１０　利用状況

（１）事業所利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
| 利用者数 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 168 |
| 開所日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 29 | 31 | 366 |
| 延べ人数 | 361 | 387 | 375 | 378 | 349 | 401 | 408 | 407 | 394 | 399 | 395 | 421 | 4,675 |
| １日平均 | 12.0 | 12.5 | 12.5 | 12.2 | 11.2 | 13.4 | 13.2 | 13.6 | 12.7 | 12.9 | 13.6 | 13.6 | 12.8 |

（２）利用者の状況

・年齢別（令和６年３月３１日現在）　※平均：４７．０歳

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | １８～１９ | ２０～２９ | ３０～３９ | ４０～４９ | ５０以上 | 計 |
| 男 | 0 | 0 | 0 | ７ | ３ | 10 |
| 女 | 0 | 0 | １ | ２ | １ | 4 |
| 計 | 0 | 0 | １ | ９ | ４ | 14 |

・障害支援区分別（令和６年３月３１日現在）　※平均：５．３

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | ３ | ４ | ５ | ６ | 計 | 重度・強度行動 |
| 男 | 0 | ２ | ５ | ３ | １０ | ７ |
| 女 | 0 | 0 | １ | ３ | ４ | ２ |
| 計 | 0 | ２ | ６ | ６ | １４ | ９ |

サポートらいむ（相談支援事業所）

１　事業概要

障害のある人、または就労、子育てに不安がある人の思いに寄り添い、能力や特性に応じて自立したその人らしい生活が送れるように相談支援を実施しました。生活に不安がある人に対しては適切な情報提供等を行い、不安の軽減が図れるように支援しました。

（１）一般相談

（２）計画相談

（３）障害児相談

（４）関係機関との連携による個別支援会議及びサービスの調整

（５）地域ニーズの把握と課題の解決

２　実施内容

（１）サービス等利用計画の作成

　　　　６２件（前年度　２６件）

（２）サービスの調整（モニタリング）

　　　　２９３件（前年度　６５件）

（３）一般相談と関係機関との連携

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 訪問 | 来所 | 同行 | 電話 | 支援会議 | その他 | 合計 |
| ７９０ | ８ | ７７ | ６８ | ６２ | １７１ | 1,１７６ |

（４）個別支援会議（担当者会議）の開催

　　　　６２件（前年度　３６件）

３　成果と課題

相談支援専門員が少しずつ相談支援のニーズに応えられるようになってきましたが、今後も研鑽を重ねていくことが求められます。また経営状況と利用ニーズの双方に応えられる相談支援事業所のあり方や相談支援専門員をさらに増員をする等、見直すことも必要となります。

４　職員研修

※研修の実施状況は、「法人事業報告　６　職員研修」を参照ください。

５　利用状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
| 相談者  児数 | 者 | 6 | 5 | 2 | 9 | 6 | 2 | 33 | 33 | 30 | 34 | 41 | 29 | 230 |
| 児 | 9 | 13 | 12 | 15 | 10 | 14 | 8 | 9 | 7 | 8 | 15 | 5 | 125 |
| 合計 | 15 | 18 | 14 | 24 | 16 | 16 | 41 | 42 | 37 | 42 | 56 | 34 | 355 |

Ⅲ　事業報告の附属明細書

令和５年度の事業報告には、定款第３４条第１項第２号に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。